

# 「安全・安心の医療」 検査別アンケート報告 『胃X線検査』

全国病院経営管理学会

診療放射線業務委員会委員

清水 賢均（慈生会 野村病院）

# アンケート内容 1

胃X線検査についてのアンケートにご協力をお願い致します。

放射線科では【安全・安心の医療】を目指して、患者・受診者の皆様にアンケート調査を行っております。  
調査結果は放射線業務の改善を目的としてのみ使用されます。アンケートに答えなくてもご本人様に不利益は発生しません。  
以下のアンケートに ○ でお答え下さい。記入後は、受付の回収箱にお入れ下さい。

性別	： 男性	女性	年齢	： 10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代～
----	------	----	----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

環境

① 撮影までの待合いの環境について	とても快適であった	快適であった	どちらともいえない	少し不快に感じた	不快であった
椅子について	5	4	3	2	1
明るさについて	5	4	3	2	1
室温について	5	4	3	2	1

② 撮影室の環境について	とても快適であった	快適であった	どちらともいえない	少し不快に感じた	不快であった
検査台の堅さについて	5	4	3	2	1
明るさについて	5	4	3	2	1
室温について	5	4	3	2	1
臭いについて	5	4	3	2	1

検査

③ 胃X線検査についての説明 (どのような検査を行うのか)	十分理解できた	理解できた	どちらともいえない	少し分からないことがある	分からないことが多い
	5	4	3	2	1

裏面もご記入下さい

# アンケート内容2

検査

被ばく

④ 撮影装置について (撮影の装置について感じたこと)	大変満足	満足	どちらとも いえない	少し怖い印象を 受けた	怖い印象を 受けた
	5	4	3	2	1

⑤ 撮影時の技師の配慮について (言葉遣いや態度について)	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満であるが 協力する	不満である
	5	4	3	2	1

⑥ 検査中について (薬剤や撮影時の体勢について)	全然気にな らなかった	あまり苦痛は 感じなかった	どちらとも いえない	少し苦痛だと 感じた	大変 苦痛だった
	5	4	3	2	1

⑦ 撮影時の放射線被ばくについて (X線を利用した検査です)	良く知りたい	情報があれば良い	どちらとも いえない	あまり気にして いない	気にしていない
	5	4	3	2	1

ご自由にご意見をご記入ください

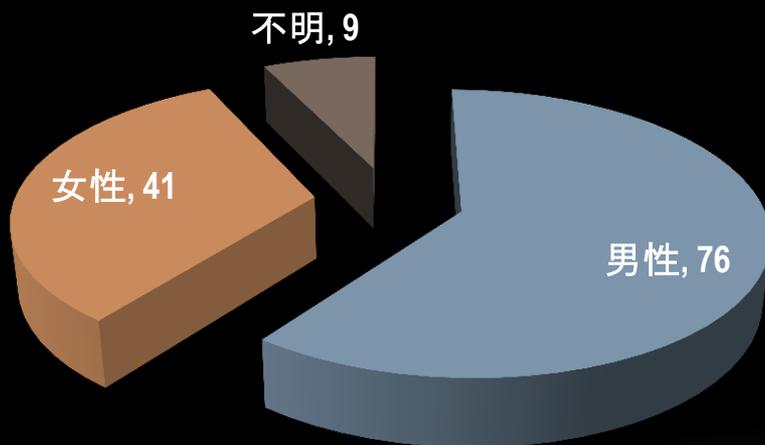
ご協力ありがとうございました。

# アンケート結果

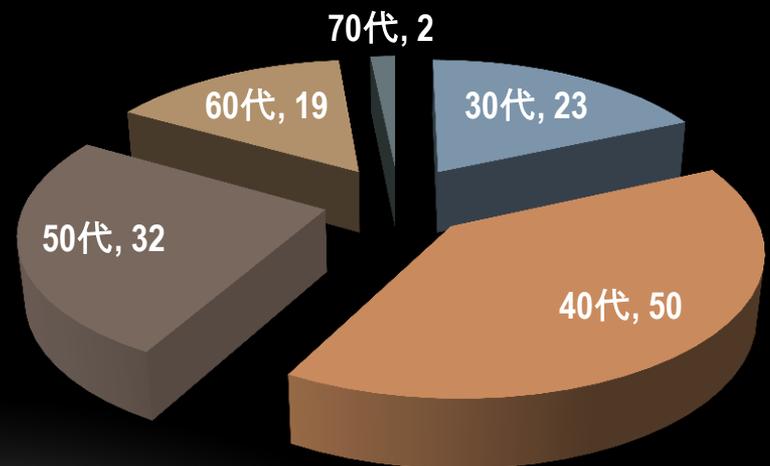
# 集計数

7 施設、162件

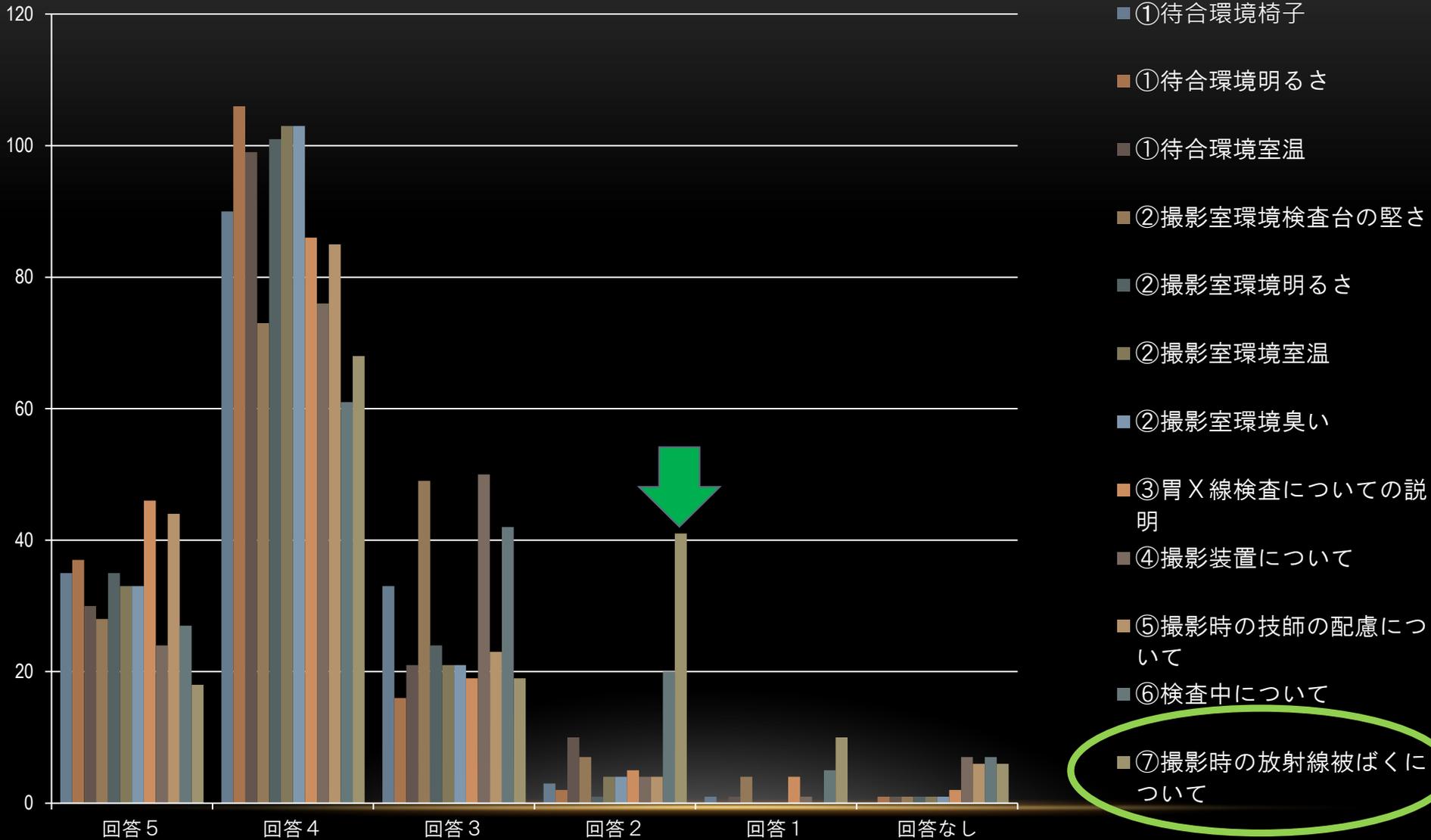
男女



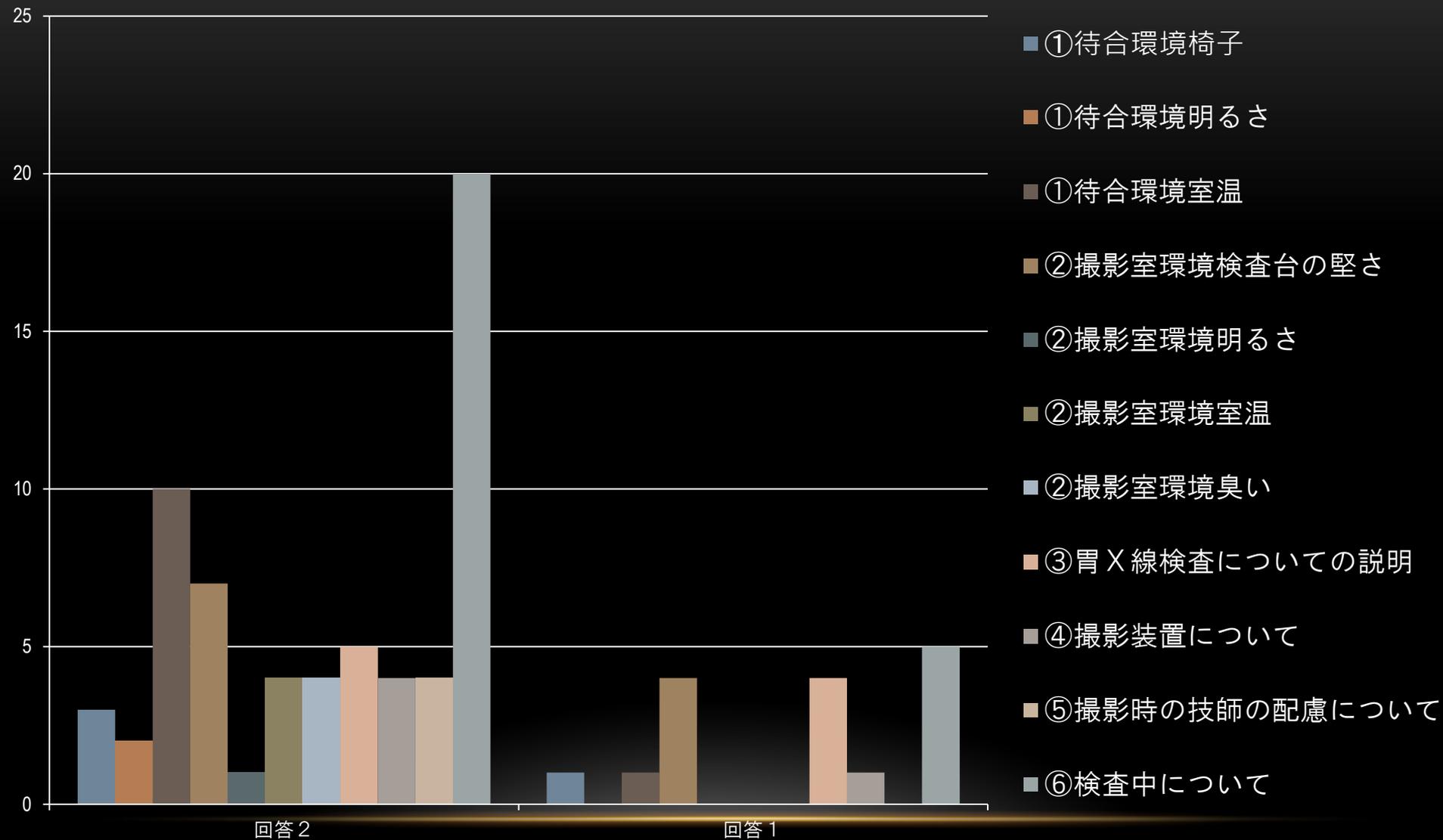
年代



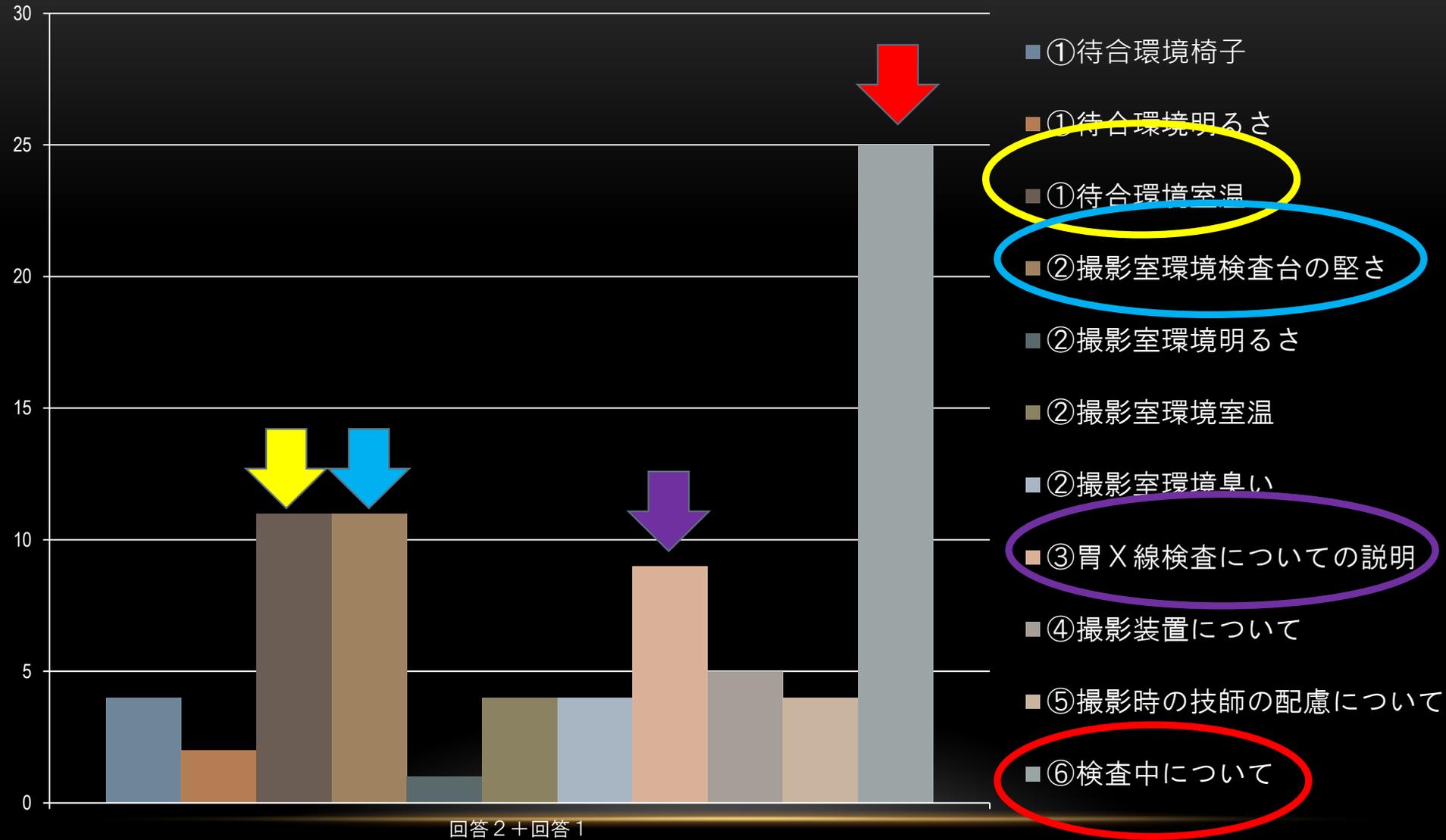
# 全体



# 回答2と回答1（アンケート⑦を除く）



# 回答2+回答1（アンケート⑦を除く）



# 自由記載 1

- 頭が下がる位置は少しつらい。腰痛がある場合はすばやく動けないので事前に確認してほしい。・・・50代男性
- 室温が低く寒かった。今年の技師さん（男性）は言葉遣いがわかりやすかった。去年は女性の技師さんに「ちゃんと聞いて下さい」と少し嫌な言われ方をしていました。・・・40代女性
- 他の病院に比べ長い時間掛けて検査してもらった気がします、発泡剤を飲むにはバリウムが濃かった気がします。・・・30代男性
- 具合の悪い方（咳がひどい）と人間ドックで長い時間待合室が一緒になるのは改善してほしい。・・・50代男性
- 座った椅子の肘掛が切れていて、中のスポンジが見えている。・・・60代男性
- 初めてのバリウムで気分が悪くなり、あとどれくらい時間がかかるか不安で機械の動きも酔ってしまった。あと何回くらいですよと言われてもらえると不安が安らぎます。・・・30代女性
- 待合室のソファの下がたれ下がっていて、全体的に傷んでいます、見た目が良くなりなく不快に感じました、補修を望みます。・・・40代女性

## 自由記載 2

- 毎年行うが今年はバリウムの量も少なく感じ楽でした、辛い台の上で回転するのは大変になってきているので何か他の方法はないのかと思っています。 ・ ・ 50代女性
- ソファ汚れと切れている。撮影室の横に置いてあるパイプ椅子は倒れて危険で美観も難。待っている間携帯やメール、ゲームをしている方を見かけます、禁止ポスター表示を。待ち時間が長すぎる（30分以内）。検査室は人間ドック専用があっても良い。 ・ ・ 50代不明
- 技師さんの声が聞き取りづらかった。 ・ ・ 70代男性と40代女性
- 苦手なバリウム検査ですが、急かさずゆっくり対応して下さってとても良かったです。 ・ ・ 30代女性
- 被ばくを考えると、毎年検査はしない方がいいのでは ・ ・ と思いますけどどうなのでしょう。 ・ ・ 40代女性
- もう少し楽な検査法はないか考えて頂きたい。 ・ ・ 50代男性
- 待合室の椅子の数がもう少したくさんあってもよいと思いました。 ・ ・ 40代女性

# 自由記載 3

- 頭を下の体勢がとても苦痛で長く感じた・・・60代女性
- 言葉が早くて何を言っているかわからないことがあった・・・70代女性
- 最後の検査が胃の検査でしたので何も飲めずにおりました。なるべく血液と医の検査は早めにした方がよいと思いました。・・・70代女性
- 全体にすっかり変わり暗い感じがしました。・・・70代女性
- 指示の言葉が外に筒抜けなのが気になりました（検査室2）・・・不明

## まとめ

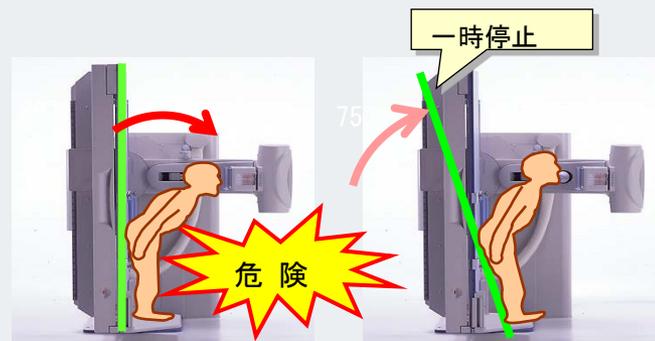
今回のアンケート結果より回答2と1の不満（不安）材料に注目するとアンケート⑥“検査について”で多い結果であった。

胃X線検査は身体的負担の大きい検査でありこれが反映した結果と考えられる。しかし、このような負担⇨不安を環境や接遇で軽減する努力は診療放射線技師の責務であり、その取り組みは“安全・安心の医療”へ繋がるものと考えられる。

# メーカ取組み1

あんしん起倒モードを備えています。  
寝台が臥位から立位へ起倒する際、高齢の受診者が前方へ転倒する事故を防ぐため、立位になる前の75°や80°等、あらかじめ設定した角度で起倒を自動的に一旦停止するモードを備えています。  
また、あんしん起倒モードでは、逆傾斜についても逆立位まで起倒せず、-45°等、あらかじめ設定した角度で自動停止します。

あんしん起倒モードでは、いきなり立位まで起倒せず、75°等、患者様の肩が天板についている角度でいったん自動停止します。



【従来起倒方式】

【あんしん起倒モード】

天板表面形状は、浅い凹面形状です。

- ・包み込まれるような安心感が得られます。
- ・受診者の肩がフィットし、長時間の検査でも疲労感が少なくてすみます。
- ・上部消化管検査時、受診者がローリングを繰り返しても天板中心に戻ることができ、効率のよい検査が可能です。

肩や背中がフィットし長時間の検査にも安心感の得られる被検者にやさしい凹面形状です。



# メーカー取り付け組み2

受診者の乗降モードを備えています。  
立位での患者乗降り時にはフットレストと床面間距離  
がわずか6cmとなる患者乗降モードを備えています。



しっかりと握れる段付きハンドグリップを採用しました。  
少ない握力でも安全に握れるよう、滑り止め工夫を施したハ  
ンドグリップを採用しました。

新開発「段付ハンドグリップ」です。

